

令和元年度 事業報告
(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

特定非営利活動法人石見銀山資料館

1 事業の成果

石見銀山遺跡への来訪者の減少に伴う収入減は、人員の配置や収支改善、新規事業の創出など経営の持続化に向けた大きな岐路となる年度であった。そのような中、当法人では博物館の使命として誰もが世界遺産や石見銀山遺跡について学べる環境を目指して「世界遺産での学びのバリアフリー」を提唱した。取り組みでは大田小学校・大田高等学校・大田市地域福祉課と連携して石見銀山遺跡16ヶ所を紹介するバリアフリー動画を制作した。この成果により「しまね社会貢献基金」からの助成事業の採択を得て、次年度には「世界遺産の学びのバリアフリー化に向けたICT教材の制作」を実施することとなった。

また、展示公開事業では、ユネスコの無形遺産である石州半紙が登録から10周年を迎えることもあり、同遺産を取り上げたスポット展を行った。開催にあたっては浜田市教育委員会や石州和紙協同組合などの協力を得たが、今後の広域連携に向けての一步となった。

教育普及事業では、歴史文化を資源とする地域活性化を促進させるため「大田市地域力向上プログラム事業」の助成を受け、江戸時代の『甘藷百珍』を現代語訳した『お江戸のさつまいもレシピ100選』の書籍を刊行した。書籍は大田市内の公民館・まちづくりセンター・学校・図書館・料飲組合などに無料配布した。あわせて大田市久利町のまちづくりセンターや銀農会などの協力を得て「代官いも」の販売なども行った。

今年度は他団体との連携による取り組みを行うことで、これまでにない団体や人との繋がりができた。次年度にはこのような人的なネットワークをさらに発展させ、社会に求められる活動を行なっていきたいと考える。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施事業の日時、場所、 従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
(1)石見銀山資料館 の運営事業	入館券の販売、展示 解説、石見銀山遺跡 のガイドンス	通年 石見銀山資料館 3人	一般・小人 展示解説13回 13797人	10,246

(2)資料の収集、整理・保存事業	石見銀山に関する資料の収集、保存・整理	通年 石見銀山資料館・大田市内 2人	一般	8
(3)展示公開事業	「企画展」 ・スポット展示 「大絵巻展」 ・石州半紙の魅力 ・無名異焼の魅力 ・江戸夫婦考 「引札ワンダーランド展」	企画展 (スポット展示) 4/1～9/10 (4/25～5/20) (6/1～7/31) (6/15～7/31) 8/1～9/23 石見銀山資料館 2人	2回9019人 (3回4825人) 8442人 (2856人) (1969人) (1524人) 2925人	845
(4)学術研究事業	石見銀山の歴史文化に関する調査研究	通年 石見銀山資料館 2人	一般	21
(5)教育普及事業	石見銀山に関する講座の開催。学習会・講演会等の講師派遣 地域力向上PG事業	通年 石見銀山資料館 大田市内 2人	一般 小中高大学生 55回 約3299人	1,028
(6)情報発信事業	多言語化のホームページやSNSなどを活用した石見銀山遺跡の情報発信	随時 石見銀山資料館 2人	一般	299
(7)研究支援及び交流事業	国内外の研究者に対する史料のレファレンス及び閲覧	随時 石見銀山資料館 2人	国内外の研究者	26
(8)書籍・物品等の販売事業	書籍・グッズ・土産 代官いもの販売	石見銀山資料館 通年 2人	一般	1,390
(9)行政等からの受託事業	なし			
(10)その他法人の目的の達成に必要なと認められる事業	なし			